

単元名

「やすうら未来子ども会議」で発信しよう  
(町の幸福論～コミュニティデザインを考える～)

男子 13名 女子 14名  
計 27名

### 1 単元のデザイン

#### 単元について

- 本単元は、小学校学習指導要領国語内容A(1)ア「日常生活の中から話題を決め、目的や意図に応じて集めた情報を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること」ウ「資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること」を受けて設定されたものである。
- 本教材「町の幸福論」は、事例を挙げ、図表などを用いて分かりやすく説明する方法やその効果を学ぶことで、プレゼンテーションに生かしていくことができる教材である。
- 提案の目的に応じて情報を関係付けて整理し、効果的に活用し表現する力を付けることで、本校で育成を目指す資質・能力を育むことができる。

#### 児童の実態

- 本学級の児童は、総合的な学習等他教科との関連を図りながら、相手や目的に応じて、資料や体験などと結び付けながら自分の考えを話す力をつけてきた。しかし、活用テストにおいて情報を比較し自分の考えをまとめることができた児童は、56%であった。
- 集めた情報を比較し整理することで、自分の考えと関連させてまとめたり、理由と根拠を区別させて、相手に分かりやすく説明したりする力が十分に付いていない。

#### パフォーマンス課題について

- 本単元では、「やすうら未来子ども会議」に向けてプレゼンテーションで思いや考えを分かりやすく発信するというパフォーマンス課題を設定した。地域の人に発信するという課題意識をもつことで見通しをもった主体的な学習活動を展開することができる。また、どんな情報を集めてどのような内容や方法で提案すればよいか思考させることで、目的に応じて情報を関係付けて整理する力や効果的に活用し表現する力が育成されると考える。

#### 思考を深める指導のポイント

- 相手意識や目的意識をもたせ、自分の考えの根拠となる情報を集め、思考シートを活用しながら自分の意見や理由に関連付けて整理させる。
- 複数の情報の中から、必要な情報を取捨選択する場面において、比較する観点を明確にし、その理由や根拠を基に話し合わせるとともに、その効果に着目させる。

### 2 単元の目標

- ・情報と情報の関係付けの仕方や図などによる語句と語句の関係の表し方を理解し、課題解決のための表現に生かすことができる。 【知識及び技能】
- ・目的や意図に応じて集めた情報を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができる。 【思考力、判断力、表現力等】
- ・資料を活用し、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる。 【思考力、判断力、表現力等】
- ・言葉がもつよさを認識するとともに、工夫して思いや考えを伝え合おうとする。 【学びに向かう力、人間性】

### 3 単元の評価規準

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	①集めた複数の情報と情報の関係付けの仕方や図などによる語句と語句の関係の表し方を理解し、課題解決のためのプレゼンテーションの構成や表現に生かしている。	①目的や意図に応じて集めた情報を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。 ②資料を活用し、自分の考えが伝わるように表現を工夫している。	①粘り強く、プレゼンテーションの内容や構成を考え、学習の見通しをもって安浦の未来の姿について提案しようとしている。

#### 4 単元計画（全12時間）

次	時	学習内容	評価規準（評価方法）		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
一	1	課題の設定 自分たちが住んでいる町の課題を見付け、パフォーマンス課題に沿った学習の見通しを立てる。			
二	2	情報の収集 「町の幸福」論を読んで、筆者の主張からキーワードとなる観点を捉える。	○知①（行動観察・ワークシート）		
	3	情報の収集 事例と自分たちの町を比較し、町の未来についての提案を考える。			○態①（行動観察・ワークシート）
	4	情報の収集 教材文の事例や資料の活用方法について分析する。 分類する		○思①（行動観察・ワークシート）	
	5	情報の収集 プレゼンテーションの構成や活用方法を理解する。	○知①（行動観察・ワークシート）		
	6	整理・分析 提案内容に合わせて事例を集める。 比較する		○思①（行動観察・ワークシート）	
	7 (本時)	整理・分析 提案内容と関連付けながら事例の活用方法を整理する。 関連付ける		◎思①（行動観察・ワークシート）	
三	8・9	まとめ・創造・表現 パフォーマンス課題に取り組む。 ・構成を考え、プレゼンテーションを作る。	◎知①（行動観察・プレゼンテーション）		
	10	まとめ・創造・表現 ・伝えたいことと関連させた提案内容の見せ方を考える。 関連付ける		◎思②（行動観察・プレゼンテーション）	
	11	まとめ・創造・表現 ・提案内容について効果や資料の効果的な使い方や話し方を交流し、改善点を話し合う。		○思②（行動観察・ワークシート）	

四	総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「やすうら未来子ども会議」に向けて発表のリハーサルを行う。</li> <li>・「やすうら未来子ども会議」でプレゼンテーションを発表する。</li> </ul>			
	12	振り返り	学習を振り返り，評価する。		

※指導に生かす評価を行う代表的な機会については「○」を，その中で特に学級全員の児童の学習状況について総括の資料にするために記録に残す評価を行う機会には「◎」を付けている。



深める	<p>学び合い③考えを広げたり深めたりする</p> <p>5 グループで話し合ったことを全体で交流する。</p>	<p>・適切な資料選びのポイントとそのよりよい活用方法について整理したことを交流させる。</p>
	<p>6 本時の学習をまとめる。</p> <p>適切な事例や資料を選び、目的に合わせて情報を活用することで、より説得力が高まる。</p>	
振り返る	<p>7 学習の振り返りを行う。</p>	<p>・プレゼンテーションを作るときに本時の学習をどうつなげるかを振り返らせる。</p>

## 6 板書計画

④ 適切な事例や資料を選び、目的に合わせて情報を活用することで、より説得力が高まる。

住民が主体で参加↓コミュニティ活動

地域との共通点↓自然との共生

具体的な成功例↓地域の施設の利用

⑤ 選んだ事例や資料と提案内容との関係を考え、その効果的な活用方法を伝え合おう。





**選ぶ視点**

- 提案内容とどんな関係があるのか。
- 使うことでどのような効果があるか。
- どのように活用するとよいか。

【資料例】

説得力を高めるポイント

関連付ける